

—歴史に寄り添うまちづくり—

伝建群だより

<編集・発行>

桐生市 産業経済部 日本遺産活用室
電話 0277-32-3914(直通)

まちなか交流館

電話 0277-22-1122

令和8年10月1日発行 No.89



まちづくりエリア計画の策定委託業者 決定

委託名

令和8年度 桐生新町伝統的建造物群保存地区及びその周辺の歴史的資源を活用したまちづくりエリア計画策定業務委託

委託業者

株式会社 NOTE(ノオト)



- ・本 社 兵庫県丹波篠山市二階町18-1
- ・事業内容 まちづくり開発事業(コンサルティング、事業計画策定、設計監理等)、NIPPONIA(ニッポニア)事業を展開、自治体等からの委託事業も数多く受けている。

代表メッセージ

NOTE

「目指すは、地域の暮らし文化の継承」

株式会社NOTEは2009年から取り組んできたまちづくり事業を全国展開する為に2016年に創立しました。地方では永らくNPO活動やボランティアベースでのまちづくりが中心でしたが、私達はその志を大切にしつつ「職業として認められ、ビジネスとして持続可能なまちづくり会社」を目指しています。私たちの手掛ける事業は一般的に「まちづくり開発」と呼ばれる事業ですが、駅前に新しい建物を建てたりするような開発とは異なります。観光地としてもあまり有名ではない小さな地域で、その土地で脈々と営まれてきた固有の暮らし、文化、生業を次世代につなげていくための仕組み作りを行っています。この取り組みを日本を代表する鳥「トキ」の学名から「NIPPONIA」と名付けました。現代社会は環境の移り変わりが激しく、新しいものが次から次に出てくる社会だといえます。そんな中でずっと変わらずに続いてきた暮らし文化が絶えようとしている地域が沢山あります。NOTEは、「なつかしくて、あたらしい」視点に立ち、地域の未来を繋ぐため「NIPPONIA」を通してこれからの日本の暮らしを創り続けていきます。



代表プロフィール

藤原 岳史

兵庫県丹波篠山市生まれ。大学進学を機に都市部に移るも2009年にUターン。一般社団法人ノオト設立に携わり、古民家を活用したまちづくり事業に取り組み始める。2016年に株式会社NOTE創立、代表取締役役に就任。NIPPONIA事業を全国に展開。

未来へつなぐ 桐生のまちづくり 株式会社NOTEと連携協定締結

KIRYU CITY × NOTE Co., Ltd. JUDANKEN



歴史と現代がクロスする場所で、

新しい桐生の物語が動き出す

令和8年9月11日、桐生市は株式会社NOTEと連携協定を結びました。

この連携協定は、空き家対策や日本遺産の保全を含む地域課題に取り組む、持続可能なまちづくりを推進することを目的としており、群馬県で初めての取組として、これから本格的な活動がスタートします。

株式会社NOTEは、全国34カ所で分散型開発を行っており、地域の空き家問題や歴史的建造物の活用に対し、成果を上げています。桐生市の重伝建地区は、織物産業の歴史が息づく重要なエリアであり、今回の連携を通じて、まちづくりエリア計画策定後も継続して連携・協力していきます。

今後は、地域住民の皆さまのお話を聞き、共に連携し、空き家の活用や観光資源の磨き上げを進めていく予定です。

地域の歴史と暮らしを守りながら、新しい魅力を創出するための大きな一歩となるよう進めてまいります。